

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向
&トピックス・5月

■シャツ製造

【千葉県・東京都】

夏物衣料がほぼ一段落し、落ち着いた模様。予想より全体的に受注量は低かった。

■製材

【県内全域】

県産材需要拡大に向けた総合的な施策を各県とも行っているが、市原市は市内産木材を使った木材住宅の建設に補助金を出す事業を始めた。

■印刷

【千葉市】

顧客の業況が好転しない。市内業者は諦め気味である。また廃業を望んでいる話は聞くが、借入金との関係で出来ないことが多いとのこと。若干ではあるが、若手（2世）が出てきている。

■生コン製造

【県内全域】

数量については結果として伸びて来ている。収益についてはは原材料・運賃の値上

げが激しく数量増であつても厳しい。平成19年度需要想定は89%と厳しい見方。

■電気鍍金

【県内全域】

受注量は多いが材料等の値上幅は大きく、材料等値上分の加工費への転嫁が出来ないため収益状況は悪化している。

■鉄工

【千葉市】

原材料が高騰傾向にあり収益圧迫を懸念する声もあるが、特段の変化は見られない。

■機械部品製造業

【野田市】

設備投資の意欲が出始めて、中小企業にも若干の明るさが出てきたと思われる。

■石油製品製造

【富津市・他】

売り上げ収益は不変。増産体制取り組みへの資金調達はなかなか進んでいない。

■食肉卸売業

【県内全域】

若干ではあるが好転の方向へ向かっている。

■建築材料卸売

【県内全域】

需要は5月だけ見れば横這いではあるが、年間では

減少傾向にあり歯止めがからまない。従ってマスコミ報道とは裏腹に回復感を感じられない。

■自動車解体業

【県内全域】

鉄スクラップ価格が若干下げた。本格的な下げにつながる様子はなく、当面調整局面ということかも知れない。

■小売

【柏市】

ゴールデンウィークの人は多かったが、軽衣料品、アクセサリー等の定額商品が売れた程度で、高額商品は売れていない。

■小売

【佐倉市】

売上が対前年比で0・4%減、前月比で33・8%減。客数は対前年比3・1%減、前月比13・8%減。

■小売

【東金市】

高額品の売り上げが落ちている。格差社会が段々と郊外にも浸透してきている。夏物需要の時期に来ているが、売上にはなかなか結びつかない。

■小売

【野田市】

ゴールデンウィーク前半は低迷したが、曜日めぐりのせいか後半の5・6日の売り上げが伸びた。

■電気機器小売

【県内全域】

引き続き価格下落（特に薄型テレビ）。売上は不調気味である。

■中古車仕入・販売

【県内全域】

卸売市場は引き合い低調である。良質車は部分的活況であり、先行きの険しさを反映している。輸出分野の不透明感を指摘。

■農業機械販売整備

【県内全域】

食料自給率が昭和40年の73%が平成元年から40%代で推移しており、農業を戦略的産業とする為に業界界としてどう対処するかが課題である。

■小売・サービス

【習志野市】

前月比はほぼ横這い状態（2%増）である。

■小売・サービス

【銚子市】

悪い状態が続いている。

■建設揚重

【県内全域】

燃料費・タイヤの他、材料費の高騰で採算が悪化している。

■学習塾

【県内全域】

大手塾が、千葉県の公立中高一貫校の入試に向けて攻勢を始めて始めている。

■一般廃棄物処理業

【千葉市】

収集運搬処理料金の値上げがどの程度の割合で出ているか、リサイクルの対応が無駄なく出来ているか等によって組合員の中でも景況内容に差があるように思える。

■建設

【県内全域】

国・県・市町村からの発注は、四〇億千九百万であった。これは前月比で三一億三千六百万の増加となった。前年同月比でも二〇億四千万の増加となった。要因は、千葉市で大型の発注があった為である。

■貨物運送

【野田市】

先月より更に燃料料が上がり、コストに影響している。